

「国際会議誘致のための7つの取組方針」に係る進捗管理表

<p>取組方針1 国際会議の特性に応じた戦略的誘致推進</p>	①医学系学会会議	<p>【誘致課】</p> <p>基礎医学分野、大阪府以外の大学への積極的な営業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●在阪の大学医学部臨床系・国立、公立病院臨床系等訪問に加え、以下を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・医学基礎系へのセールス(大阪大学微生物病研究所・大阪大学免疫学フロンティア研究センター) ・大阪以外の大学へのセールス(和歌山医大・京都大学・神戸大学) ・関西圏以外の大学へのセールス(熊本大学・鹿児島大学・九州大学) <p>その他、以下も実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●科研費リスト抽出、DM送付、訪問 ●他都市開催の学会の視察とセールス(計3件) ●誘致支援金の積極的活用によるセールス →2件決定
	②自然科学系学会会議	<p>【誘致開発課】</p> <p>ネットワークの構築と割引料金制度の実行</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大阪府立国際会議場アドバイザーとの連携8名訪問、ネットワークづくり →2020年国際会議1件成約、 ●関西大学・立命館大学・大阪市大・大阪府大・大阪産業科学研究所への定期訪問 ●国際シンポ開催見込有の在京各団体の訪問セールス →(自動車技術会・鉄鋼協会・宇宙航空研究開発機構) ●科研費リスト抽出、DM送付、訪問 ●大阪商工会議所産業部/国際部における国際シンポジウムセールス ●太平洋人材交流センターにおける国際交流シンポジウム提案 ●国際会議提案書における大阪府知事・大阪市長招聘状手配→宇宙線系国際会議の内定 ●誘致支援金の積極的活用によるセールス →8件決定、3件内定 ●8月開催分3か月前割引料金の設定による積極的セールスを実施(DM・訪問) ●過去利用・問い合わせ実績を元にセールスの実施
	③その他 (政府系・オール大阪)	<p>【誘致開発課】</p> <p>大阪の都市格を高める政府・国際機関主催の国際会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ●G20サミットに関連し外務省訪問や大阪府警への宿泊場所の提供等関係機関等の連携を図る ●G20サミットで面識を得た外務省における政府系国際会議(通常東京・横浜開催)の情報入手を実施 ●2025大阪・関西万博の機運盛り上げを考え国際シンポの共催提案(大阪大学・大阪府大・大阪市大・循環器病研究センター) →大阪大学主催(当社共催)による国際シンポを2件開催、2020年2件開催予定 ●ICCA加盟による日本開催可能性のある国際会議の抽出 →適宜段階的に実施 ●オール大阪(大阪観光局、府、市)との連携 <p>戦略的パートナーシップによる誘致力強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大阪観光局・旅行代理店等との連携、資料の共有化による国際会議提案書(大阪全体)のひな形作成を実施 ●中央公会堂との中之島MICEアライアンスとしての連携、ミーティングを実施 ●インテックス大阪との定期会合による情報交換と京都団体事務局への共同セールスを実施

取組方針2 データに基づくマーケティング戦略の推進	国際会議の特性に応じたマーケティングの展開	<p>①医学系学会会議 臨床医学系に加え、基礎医学系学会会議のキーパーソン等これまで蓄積してきた情報やデータや新たに拡大した分野、地域ネットワークから得られた情報に基づき、研究室や学会集会への積極的訪問等</p> <p>②自然科学系学会会議 当社アドバイザーのご紹介によるネットワークの拡充、その他キーパーソンや業界団体等についても新たなネットワークを構築することで、国際会議の開催情報を収集・把握し、着実に誘致活動</p> <p>③政府・国際機関系国際会議 ICCAが提供する国際会議の開催情報を定期的に収集分析し、大阪や当社における開催可能性、催事規模やキーパーソンの把握を行い、それらのデータから得られた情報をもとに、誘致活動を推進</p> <p>④国際会議誘致会議による中期的誘致戦略の検討 社長をトップとした国際会議誘致会議を3か月ごとに開催し、主要な国際会議の開催情報の共有と誘致戦略の検討。</p>
	国際会議等キーパーソンデータベースの新たな構築	●ICCAのWEBページより大阪観光局や予約課から問い合わせのある国際会議をリサーチ、定例的に実施されている国際会議をリスト化し国内のキーパーソンを導きセールスを実施するスキームを構築中
取組方針3 中之島MICEアライアンスによる国際会議の誘致推進	中之島MICEアライアンスの取り組み	●懇親会会場として大阪市中央公会堂を紹介
	中之島MICEクラスターの形成	●中之島港からのエクスカーションプランとして乗船プログラムを提案（一本松海運様と連携）
	中之島の活性化に貢献	●GRAND CUBE PRESSで中央公会堂館長と大阪国際会議場担当社員とで対談（5,000部発行）、共存共栄の可能性を示唆
取組方針4 主催者への支援制度拡充と戦略的活用	支援金の柔軟な活用	<p>●2019年度支援決議決定(19件5370万円)、 →2019年度3件380万円、20年度8件1990万円、21年度4件600万円、23年度3件1800万円、24年度1件600万円</p> <p>●2019年度開催分支援金支払い金額(10件1,610万円)</p>
	主催者へのトータルサポート	<p>別表に基づき以下を行った。</p> <p>【誘致段階のサポート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●万博関連国際シンポジウムにおける「大阪府・大阪市・日経新聞社」後援手配（計2件） ●2020年日本透析医学会において盛り上げるべく中之島通りに街路バナーを提案 ●宇宙線系国際会議において(立候補企画書作成サポート、大阪観光局を含む誘致支援金の提案、大阪府知事、大阪市長招聘状手配)等実施 ●宇宙航空研究開発機構国際会議において大会本部主要メンバーのサイトビジット受け入れ(20年1月)、バンケット会場としての中央公会堂紹介 ●倉庫系国際会議大会本部主要メンバーのサイトビジット受け入れ ●建築系国際会議へアトラクションの紹介 ●各種国際会議へ、託児運営会社、代理輸入会社等サービス提供会社の紹介や大阪観光局紹介 <p>【開催前のサポート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●マスコミが取り上げそうなテーマを扱う国内大型会議や国際会議の主催者へプレスリリースの機会を提供（計3件） <p>【開催当日のサポート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●4月開催日本外科学会において盛り上げるべく中之島通りに街路バナーを手配
	既存ネットワークのさらなる強化	<ul style="list-style-type: none"> ●メンバー変更の際は相互に紹介し合う等、在阪の大学（医学系）及び国立、公立病院における人的ネットワークの継続を図る ●大阪大学及び国立循環器病研究センターにおける一般向けシンポジウムの参加とそこでの各主催者との接触によるネットワークの構築を図った ●中之島MICEアライアンス(官)、大阪観光局(官)、大阪府・大阪市(官)との連携によるネットワークのさらなる強化を図った

<p>取組方針5 国際会議のキーパーソン等との新たなネットワーク形成</p>	<p>新たなネットワークの形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●大阪以外の大学(京都・神戸・関西圏以外九州地区等)(学)への定期的なセールス訪問により新規ネットワーク作り ●アドバイザーの先生(自然科学系)(学)をコアとして、その周辺の先生の紹介を受ける等新規のネットワーク作り ●大阪商工会議所(産)、太平洋人材交流センター(産・官)への共催提案等新規のネットワーク作り ●科研費(C to C)対象の研究をリスト化し、関西圏のキーパーソンにDM・TEL・訪問を実施(京都大学、大阪大学産業科学研究所・レーザー研究所 他) ●アジアの主要大学と連携を図っている在阪の大学について、今年度中にアプローチを行う ●セールスにて得た情報を履歴として残しデータベース化し社内にて共有
	<p>大阪MICEビジネスアライアンスへの参加と連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●従来から継続的に大阪MICEビジネスアライアンスに参加し、各種会合参加はできるだけ社員の参加を行い、全社で育成を進める(今期は3回開催の内3回とも出席、弊社社員は計8名が参加、参加企業との意見交換も合わせて実施) ●大阪MICEディステーションショーケースにも積極的に出展し大阪におけるMICE関連産業の振興に努めた
<p>取組方針6 オール大阪による大型国際会議等の戦略的誘致の推進</p>	<p>オール大阪の一員としての当社の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●政府系国際会議、自然科学系国際会議の専門部署である「誘致開発課」におけるG20サミットの各種対応を実施(大阪府警含む) ●大阪観光局との共同セールス(関西大学・大阪市立大学・大阪大学)を実施、数件の国際会議の内定にいたった。また大阪観光局、OICCと別々の誘致支援金においてもオール大阪としての発信力を高めるために合計金額での提示を行うようにした ●ロイヤルホテル、大阪観光局との共同誘致案件においては、案件にあわせた会場提案書を用意し、視察対応するなど連携して対応中 ●大阪のMICE関連事業者との連携は引き続き継続中(旅行会社、ユニークベニュー等) ●日本政府観光局からインドのファムトリップの受け入れ要請の対応、リーガロイヤルホテル大阪と連携して中之島・大阪の魅力を発信
	<p>インテックス大阪との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●定期的にインテックス大阪との会合を開催し国際会議の情報を共有 ●京都の団体事務所にインテックス大阪と共同でセールスを実施 ●公式ツイッターの相互フォローや、情報交換を実施
	<p>府内MICE関連事業者と一体となったサービスの提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●地元大阪府内に事業所のある企業とパートナーを組んで再委託先事業者の選定を実施 ●館内パートナー事業者と共同で館内パトロールの実施を行い、来館者が快適に過ごせる環境に機能向上を図る
<p>取組方針7 誘致体制強化・誘致力強化のための人材育成</p>	<p>社内誘致体制の強化</p>	<p>(再掲)</p> <p>④国際会議誘致会議による中期的誘致戦略の検討</p> <p>社長をトップとした国際会議誘致会議を3か月ごとに開催し、主要な国際会議の開催情報の共有と誘致戦略の検討。</p>
	<p>人材育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●国際会議担当部署(誘致課・誘致開発課)において2019年度より新たな人材を採用(3名) ●新規採用職員への計画的研修を実施 ●他施設を視察し、他施設の同年代の方との交流を図り意見交換 ●人材育成として大阪MICEアカデミー参加
	<p>他施設等との交流連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●年2回の国際会議場施設協議会を通じて他施設と意見や情報の交換を実施、国際会議へのセールスへと繋げている ●近隣の宿泊施設(ホテルNCB)や大阪迎賓館等の施設見学を実施、ユニークベニュー等の情報収集および人材交流を実施